



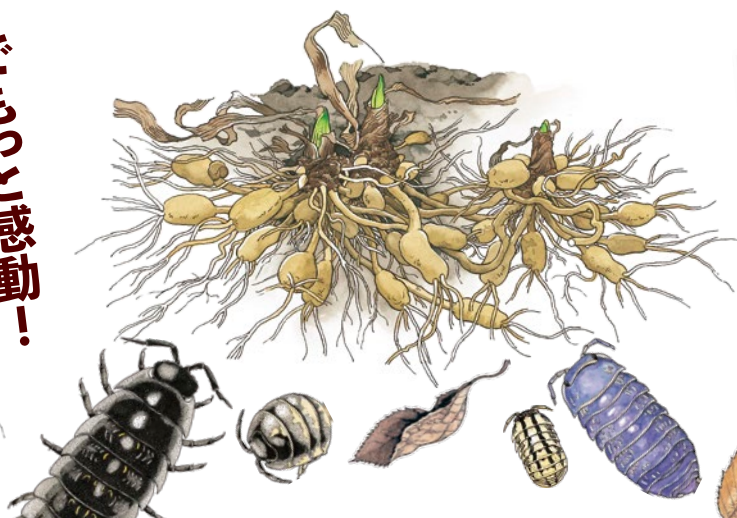
フィールドと
つながる
×
絵本
原画展



絵
で
感
動
!

草の根 と 落ち葉

フィールドでもっと感動!



会期 **2022 11.3** 文化の日 **木** **2023 1.15** 日

※会期中休園日: 11月4日(金)、7日(月)、14日(月)、21日(月)、24日(木)、12月19日(月)、26日(月)、28日(水)~2023年1月4日(水)、1月10日(火)
※会期等は変更になることがあります。詳細はホームページ等でご確認ください。

入園料 **320円** ※高校生以下・65歳以上・障がい者とその介護者1名まで無料
開園時間 **9:00~16:30** ※入園は16時まで

主催 国立科学博物館附属自然教育園
共催 株式会社少年写真新聞社

国立科学博物館附属 自然教育園 教育管理棟1階展示スペース (港区白金台)

お問い合わせ(自然教育園)
03-3441-7176



自然教育園HP

フィールドと
つながる
×
絵本
原画展

草の根 と 落ち葉

自然を題材とした絵本には、「感動」と「興味」がたくさん詰まっています。絵本を読んだあとにフィールドで本物の自然を見ると感動はさらに深まり、興味は理解へとつながります。

本展では「草の根」と「落ち葉」をテーマにした絵本の原画でひっそりとした晩秋の自然に心を惹きつけます。そして都心に残された貴重な森林緑地＝自然教育園をフィールドとした本物の自然の観察へとつなげます。

絵本が伝える自然の魅力。フィールドだから気づくこと。その相乗効果から、自然の「おもしろさ」と「不思議」をより感じていただけるような工夫を散りばめました。

◆フィールドとつながる絵本◆

『ぼくの自然観察記 草の根のたんけん』



野草が好きな人でも普段あまり目にする事が無い「草の根」。地上の姿から想像できない、生き抜くための植物の知恵が、詰まっているのに気づきます。



◎おくやま ひさし



ウバユリ



カラスウリ



ヨモギ

●絵と文 おくやまひさし●

自ら絵を描き写真を撮り、自然の不思議やおもしろさを、絵本で伝える野遊びの達人！

ヤマノイモ

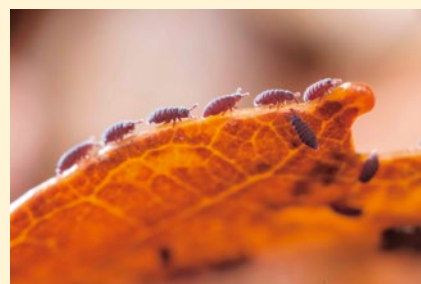
『落ち葉のふしぎ博物館』



林の中で落ち葉を拾い集めて歩くと、いろいろなことに気づきます。葉っぱの色や形の違い、手触り、におい、落ちてくる木の実、それに落ち葉の下にいる生きものも見逃せません。



◎盛口 満



◎安田 守

●絵と文 盛口満(通称、ゲッチョ先生)●

緻密な絵と軽妙な文、豊富な博物学的知識で自然のおもしろさと奥深さを万人に伝える達人！

●写真 安田守●

長期にわたり、根気強く生きものに向き合って、自然の不思議を丹念に記録する生きもの写真家。

◆自然教育園ってどんなところ？◆



大都市「東京」に残された貴重な森林緑地



四季折々にさまざまな生きものを身近に観察できます



●JR山手線 目黒駅東口・東急目黒線 目黒駅より徒歩9分
●東京メトロ南北線・都営三田線 白金台駅1番出口より徒歩7分
東京都港区白金台5-21-5